

JBBステビア農法栃乙女

栃木県芳賀野郡二宮町に栃乙女の栽培の天才がいる。彼がステビアと出会った。ステビアの長所、短所を知り、長所を生かし、短所を補う工夫ができた。大豆かすを加えた有機堆肥で味の更なる向上を目指し、電解水（強酸性水）による殺菌もファームAとの相性を考慮して使用。新開発のカルシウム剤も使用。液肥の灌水もハウスごとに成分を変え、ハウスごとの保水性を考慮した灌水時間の設定を行っている。ファームAの葉面散布、灌水に工夫をして苗の丈を上げず、生殖成長に向わせている。光合成による養分も根からの養分もそのほとんどが実に向うように！そう成長ホルモンであるオーキシン、花芽分化を左右するサイトカイニンをも二次的にコントロールした。

最高の味を年内から春先まで維持、棚持ちも驚異的なレベルに。もちろん残留農薬も検出できないほど低レベルになっている。いちご作りの名人がステビアの力を得てこの世に送り出す最高の逸品。

大田市場 叶久 林 直樹

